

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
英語	英語コミュニケーションⅡ	2	3	必修

到達目標	英語コミュニケーションⅠで学習した内容に加え、さらに発展的に4技能5領域の力を深化させていく。
------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	・進行形・受け身, S+V+C(=現在分詞・過去分詞), seem to ～を理解し, 文を作ることができる。 ・It is … (for A) to ～, S+V+it+C+to ～, All you have to do is (to) ～を理解し, 文を作ることができる。	・外国の人々にも正確に伝わるピクトグラムのメッセージ性について自ら考え, 新たなピクトグラムのアイデアを発表する。 ・海外に渡って生活することの意義や難しさについて自ら考える。 ・好きな外国人について発表する。	
1学期期末	・It is+形容詞+that-節, S+V+it+C+that-節, S+V+O+O(=名詞節)を理解し, 文を作ることができる。 ・関係代名詞の制限用法, 関係代名詞の非制限用法, 完了形, 完了形(受け身)を理解し, 文を作ることができる。	・折り紙の歴史と発展について読み取り, 折り紙のもつ可能性について自ら考える。日本の伝統的な遊びについて発表する。 ・言葉遊びと, さまざまな国における幸運な数字・不幸な数字について読み取り, 幸運な数字・不幸な数字の文化的背景について自ら考える。 ・言葉遊びについて発表させる。	
2学期中間	・群動詞(受け身), 進行形(受け身), 関係副詞の制限用法, 関係副詞の非制限用法を理解し, 文を作ることができる。 ・「時」や「理由」などを表す副詞節, 分詞構文(現在分詞), 「推量」を表す助動詞, 助動詞+have+過去分詞を理解し, 文を作ることができる。	・医療技術の進歩や今後の展望について自ら考え, 新しい技術について発表する。 ・環境保護に対する自分たちの責任について考え, 環境保護について発表する。	
2学期期末	・仮定法過去, S+V+O+C(=原形不定詞, 現在分詞), S+V+O+C(=過去分詞), 同格の that を理解し, 文を作ることができる。 ・have [get]+O+過去分詞, 完了不定詞, 仮定法過去完了, 省略を理解し, 文を作ることができる。	・世の中に変化を起こすために自分に何ができるかを考え, 渡航経験をもつ日本の偉人について発表する。 ・平和のための活動とそれに関わる人々の意志について自ら考える。 ・将来つきたい職業について発表する。	

学年末	・倒置，分詞構文(完了形)，as if＋仮定法，複合関係詞を理解し，文を作ることができる。 ・既習の文法事項に関する知識を使いながら，長めの物語文を読ませて，その概要を読み取らせるとともに，英文読解の楽しさを体験させる。	・身の回りにあるすぐれたデザインについて発表する。	
------------	--	----------------------------------	--

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・主に定期考査 思考・判断・表現・・・主に定期考査 主体的に学習に取り組む態度・・・授業・宿題・提出物ほか
--------------------------	---

教科からのアドバイス 授業の準備をしっかりと行い、授業の復讐を怠らずにコツコツと学習しましょう。また、教材についているQRコードを読み取って音声もしっかりとリスニングしましょう。
--